

市民講座「アジアから見た日本の改憲問題」のご案内

朝鮮半島で南北両首脳による歴史的な対話が行われた2018年春、日本国内では、自民党が「改憲条文素案」を公表し、改憲による、自衛隊の憲法明記、緊急事態条項の導入などへの意志を示しました。これに基づき現政権は、安保法制による解釈改憲にとどまらず、憲法9条を含む「明文改憲」にも着手しようとしています。また、沖縄では、県民投票の結果にもかかわらず、米軍基地の辺野古移設が進められようとしています。日本で今日進むこれらの軍拡路線は、アジア諸国にとってどのような意味を持つのか、それは北海道にどのような影響をもたらすのか、講演と対談を通じて考えてみたいと思います。

日時 2019年8月24日(土) 15:00～17:30

会場 北海道自治労会館 4Fホール

(札幌市北区北6条西7丁目)

内容 講演 講師:永山茂樹

対談 永山茂樹×清末愛砂



講師プロフィール 東海大学法学部教授(憲法学)。1960年生まれ。主な著書に『判例ナビゲーション憲法』(共著、日本評論社、2014年)、『法科大学院はどうなる 若手弁護士の声』(共著、花伝社、2016年)、『国会を、取り戻そう! 議会制民主主義の明日のために』(共編著、現代人文社、2018年)など。このほか、共謀罪、集団的自衛権、緊急事態条項などに関する論文多数。

◎ 北海道地方自治研究所・憲法研究会 2004年3月、結城洋一郎・小樽商科大学名誉教授を
主査に設置されました。2005年度までは憲法に関する学習会を開催し、2008～17年度は「生活権
2016年度からは、「憲法市民講座」を開催し、2018年度からは清末愛砂・室蘭工業大学准教授を
主査に活動を行っています。

お問い合わせ 公益社団法人北海道地方自治研究所
〒060-0806 札幌市北区北6条西7丁目 北海道自治労会館2階
TEL 011-747-4666
FAX 011-747-4667